

入 札 番 号 第 33 号

工事（業務）名 富士川町浸水想定区域図作成業務委託

工事（業務）場所 富士川町 地内

質問事項

1. (一般仕様書)の「2.5 浸水解析（浸水シミュレーション）」において、「発注者の指定する図書に基づいて流出解析モデルを利用して行う」とありますが、この「図書」とはモデル化にあたり準拠する基準、またはそれに類するとりまとめを行った過年度業務成果という理解で良いでしょうか。可能であれば、図書の具体的な内容についてご教示ください。
2. (2)特記仕様書の「2. 業務の内容」の「（4）浸水シミュレーションによる内水浸水解析」に「②数値データ化する最小管径 下水道管内水理モデルは構築しない」とありますが、本業務の解析モデルは管渠・水路等の管渠モデルを構築しない簡易シミュレーションという認識で良いでしょうか。
3. (2)特記仕様書の「2. 業務の内容」の「（4）浸水シミュレーションによる内水浸水解析」に「⑤キャリブレーション1地点、1降雨」とありますが、キャリブレーションは一般的に降雨特性の異なる複数降雨（例えば、2～3降雨）を実施する事例があります。業務遂行途中で発注者との協議により必要と判断された場合、キャリブレーションの降雨数の増加は想定されていますでしょうか。また、降雨数が増加となった場合、設計変更の対象と考えて宜しいでしょうか。
4. 予定価格の設定に当たり、(2)特記仕様書の「3.2 シミュレーション（(1)浸水シミュレーション、(2)内水浸水想定区域の設定）」は、第2号明細書の「シミュレーション(現有施設の能力評価、問題点の抽出、まとめと照査)」に含まれているという認識で宜しいでしょうか。上記に関連し、予定価格の設定は、本項目以外も含めて公益社団法人日本下水道新技術機構「流出解析モデル利活用マニュアル」による積算を行ったのか、見積を取得し設定されたのかをご教示頂けないでしょうか。
5. 浸水シミュレーションの実施に当たり、解析ソフトウェアおよびソフトウェアのバ

ージョンの指定があればご教示ください。

6. 設計書の第1号～第3号明細書に記載されている「補正係数」の算定根拠について可能であればご教示ください。（「流出解析モデル利活用マニュアル 2017年版」の標準歩掛等）。

7. 本業務は、最低制限価格が設定されていないという認識で宜しいでしょうか。

回 答

1. 昨年度業務にて参考とした図書は「流出解析モデル利活用マニュアル（2017年3月）公益財団法人 日本下水道新技術機構」となります。なお、前記図書の最新版が2026年5月に発表されましたので過年度業務への影響を考慮しつつ参考とします。
2. お見込みのとおり、「管渠、水路等の管渠モデルを構築しない簡易シミュレーション」を想定しています。
3. 発注者および受注者との協議によって、「降雨数」を増加する必要があると認めた場合には「設計変更」にて対応します。
4. お見込みのとおり、「内水浸水想定区域の設定」は第2号明細書に含まれます。また、予定価格の設定は「流出解析モデル利活用マニュアル」による積算を行いました。
5. 解析ソフトの指定はありませんが、「流出解析モデル利活用マニュアル」にて記載されている解析ソフトを想定しています。参考までに前段業務にて使用したソフトは「Infoworks ICM」となっております。
6. 補正係数の算定根拠は「流出解析モデル利活用マニュアル」の標準歩掛となります。
7. 最低制限価格の設定はありません。

上記とおり回答します。

令和8年7月 15日 富士川町（土木整備課）